

人と野生生物の関係を考えよう！

ワイルドライフマネジメントフォーラム特別講演会

10月28日（水）18時半～

新丸の内ビル・エコツェリアにて開催！

野生生物保護管理の最新潮流 ～ I W M C 2015から見えてきたもの～

農林漁業被害を始めとする野生生物と人間社会との軋轢が高まる中、今春の改正鳥獣保護法施行に象徴されるように、野生生物と人との関係を再構築すべき時代になりました。本年7月、こうした問題を考えるため世界の研究者が一堂に会した「第5回国際野生動物管理学術会議」（I W M C 2015）が札幌市で開催され、世界中の様々な研究成果、事例報告や実践的取組が発表されました。会議の実行委員長であり日本哺乳類学会理事長である梶光一東京農工大学教授を招き、この会議から見えてきた世界の野生生物保護管理の最新情報や潮流をご紹介いただき、これからの「人と野生生物との付き合い方」を考えるための特別講演会を開催します。

日 時：2015年10月28日（水）18時半～20時半（開場：18時）

会 場：ECOZZERIAエコツェリア（東京都千代田区丸の内1-5-1新丸ビル10階）

申 込：参加者の氏名・年齢・住所・電話番号・所属と「フォーラム参加希望」と記し
shiretokodaigaku@gmail.com宛メールでお申し込みください。
定員に達し次第締め切ります。

定 員：90名（参加無料）

講 師：梶 光一さん（東京農工大学教授、日本哺乳類学会理事長）

ゲスト：講師のほかコメンテーターとして関係機関や専門家をお呼びする予定です。

主 催：公益財団法人知床自然大学院大学設立財団

協 力：三菱地所株式会社



第5回国際野生動物管理学会（IWM C2015）とは？

世界最大の野生動物学の学術団体であるThe Wildlife Society（アメリカ野生動物学会）と日本哺乳類学会の共催で、7月26日から30日まで札幌コンベンションセンターで開催された。アジアでは初めての開催であり、世界47カ国から約1,300人以上の研究者や行政担当者、NGOなどが集った。



公益財団法人知床自然大学院大学設立財団について

現在、貴重な自然環境や生態系、生物多様性を後世に伝えていくことの重要性が一般に認識されています。一方でクマの生活圏への出没、シカやイノシシによる農林業被害、外来種による生態系への影響拡大などが緊急の課題となっています。これらの問題を解決し、あるべき自然と人間社会の実現する 研究と人材養成が求められています。

世界自然遺産である知床は、行政、地域住民、研究者、企業・団体の関係者が、貴重な自然環境に対する研究や保全対策に手を携えて取り組んできた実績と経験が蓄積された地域です。これらの蓄積は、同様の課題を抱える日本や世界各地の共通資産としてシェアすべきだと考えます。

「知床自然大学院大学（仮称）」の設立構想はこのような問題意識から発案されました。しかし、日本の端の小さな町が独自に大学や大学院を設立するには、財政などさまざまな困難があります。町による設立検討という当初の発議から、20年以上にわたる議論を経て、資金を集め設立準備を進めるための財団法人をつくり、構想の実現を図る、という計画を持つに至りました。

資金のない民間有志が大学や大学院を設立した事例は、日本では見当たりません。どうぞ、私どものこうした壮大な計画に対してご理解を賜り、この財団の活動をご支援いただくよう、切にお願い申し上げます。

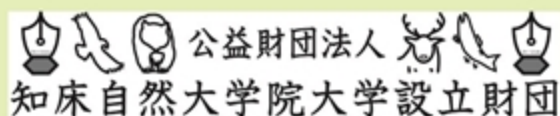
〒099-4117 北海道斜里郡斜里町青葉町28-10

電話：0152-26-7770 FAX：0152-26-7773

公式ホームページ：<http://shiretoko-u.jp>

公式ブログ：http://blogs.yahoo.co.jp/u_shiretoko

公式フェイスブックもあります！：知床自然大学院大学設立財団で検索を！



ワイルドライフマネジメントフォーラム

会場案内図 (エコツェリア)

- JR「東京」駅：丸の内北口より徒歩1分／丸の内地下中央口より地下道にて直結
- 丸ノ内線「東京」駅：地下道より直結
- 千代田線「二重橋前」駅：7番出口より行幸地下通路にて直結（徒歩約2分）
- 三田線「大手町」駅：D1出口（徒歩約1分）
- 東西線「大手町」駅：B1出口（徒歩約4分）
- 半蔵門線「大手町」駅：A5出口（徒歩約8分）

会場のある10階へは、新丸の内ビルのオフィスゾーン用エレベータをご利用下さい。レストランなどがあるショッピングゾーンから10階へは上がりませんのでご注意下さい。